

運転支援ハンドブックの発行

作業療法士 平山陽介

脳卒中や脳外傷の後遺症で高次脳機能障害となった方々が自動車の運転を再開する場合、適切な準備と手続きを行う必要があります。

しかし、統一した方法が確立されておらず、当事者だけでなく、医療者側もその支援に悩むことが多くあります。

そういった実情もあり、この度、沖縄県警察運転免許センター及び、沖縄県指定自動車学校ご協力のもと、「高次脳機能障害ハンドブック～自動車運転再開編～」を発行するはこびとなりました。

このハンドブックでは、運転を再開する際にどのような手順で運転支援が行われていくのかを分かりやすく掲載しております。当事者やそのご家族の方々にハンドブックを手にとっていただき、適切な運転再開に向けた準備を進めていただきたいと思います。また支援者の皆様にも、積極的にご活用いただければ幸いです。



研修会のご案内

作業療法士 鈴木里志

沖縄県高次脳機能障害就労支援研修会を開催します。

- 日時：2019.11.02 (土) 14:00-16:30
- 会場：タピックこども館 4F
- 対象：医療従事者対象 (定員50名/参加費無料)
- テーマ：「高次脳機能障害者に対する就労支援のポイント」
- 講師名：古屋市総合リハビリテーションセンター 稲葉健太郎氏

高次脳機能障害者に対する就労支援のポイント

2019.11.02 14:00-16:30

参加費無料

タピックこども館4F

稲葉健太郎氏

物忘れ外来のご紹介

神経内科 医師 藤山二郎
脳神経外科 医師 奥山久仁男

以下のような点に気づいたら、もの忘れ外来を受診することをお勧めします。

- (1) ものの名前が出てこない、同じことを何度も言ったり、聞いたりする、置き忘れやしまい忘れが目立つ、蛇口の締め忘れ、鍋を焦がす等の記憶障害
- (2) 時間や場所の感覚・記憶が不確かになった見当識障害
- (3) 趣味に関心がなくなる、理解力が低下し、計算ができなくなる、計画がたてられなくなる等の意欲、思考・判断力の低下
- (4) 怒りっぽくなった、お金や物を盗まれたと言う、実家へ帰るといふ帰宅願望夜になると騒ぐ、幻覚、妄想、徘徊などの行動異常。

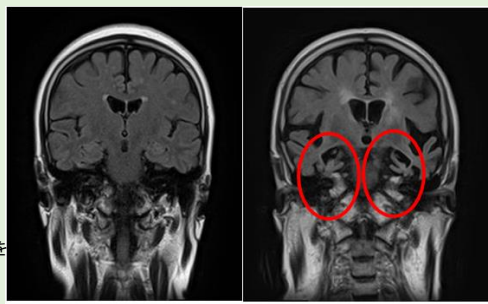
当院ではMRIによる“脳萎縮の部位診断”を簡便かつ正確に行うため特殊な検査を実施しております。認知症は早めの診断が大変重要です。気になる症状がありましたら早めに受診してください。

物忘れ外来診療のご案内

| | 月 | 木 | 金 |
|----|---|---|---|
| 午前 | | ● | ● |
| 午後 | ● | | |

※来院される際には事前に予約の連絡をお願い致します。

予約・お問い合わせ先について
医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院
098-982-1777 (代表)



健常老年人

アルツハイマー型認知症

ジェントルスティムのご紹介

言語聴覚士 我謝翼

沖縄リハビリテーションセンター病院では、新たに飲み込みの治療機器「ジェントルスティム」を導入しました。これは、のどに微弱な電流をあて飲み込みの反射(ごっくん)を誘発させる機器です。病気や加齢の影響から、飲み込みの感覚が低下した機能をより効果的に訓練を実施することができます。飲み込みに不安がある方は、当院外来リハビリにお気軽にご相談下さい。



電気刺激装置「NM-F1」のご紹介

理学療法士 照屋修平

2019年6月より脳卒中や脊髄損傷による麻痺や歩行能力改善目的に、電気刺激装置「NM-F1」を導入しました。特徴として、歩くタイミングに合わせて電気を流し、歩行能力の改善を図っています。現在は入院中の患者様を対象に行っていますが、今後は外来リハや短時間通所リハでも運用します。興味のある方はお問い合わせだけでも構いませんので、お待ちしております！



TGスイッチ